BISINESTA

301JR シリーズ
取扱説明書

はじめに／目次
1 ご使用になる前に
2 基本機能
3 メール
4 インターネット
5 パソコンとの連携
6 セキュリティ（安全）
7 便利な使いかた
8 モードの活用
9 困ったときは
付録／索引など

JRC 日本無線株式會社

はじめに

このたびは、「301JR」を
お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本電話機を正しくお使いください。

ご使用にあたって

●本電話機のご利用には、ワイモバイルと契約する必要があります。契約申し込みをされるときには、契約事務手数料がかかります。また、契約申し込み後は、毎月の基本料金と通話料がかかります。詳しくは、巻末の「お問い合わせ窓口」に記載されているワイモバイルカスタマーセンターへお問い合わせください。

●できるだけ電波の強い所でご使用ください。本電話機は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが４本あるいは５本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。

●公共の場所、人の多い場所や静かな場所では、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。

●繁華街など人通りの多い所では、通行の妨げにならない場所でご使用ください。

●オートバイや車などが近くを通ると、雑音が入ることがあります。

●一般の電話機、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くでご使用になると、雑音などの影響を与えることがあります。

●電気製品やOA機器などの近くでご使用になると、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

●電子レンジをご使用のときは電磁波の影響を受けやすく、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

●本電話機は電波を使用している関係上、第三者に傍受される場合がまったくないとはいえませんが、デジタル信号を使用した秘話機能をサポートしております。

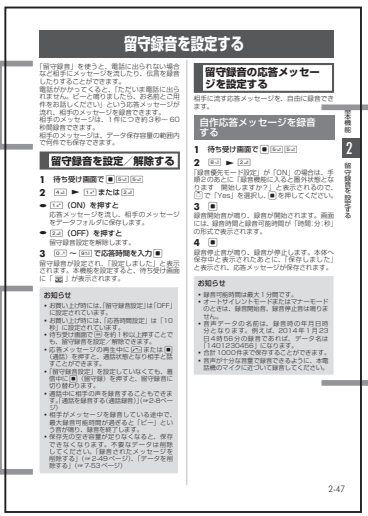
●お客様自身で本電話機に登録された内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。万一、登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用いただくことをご承諾するものとします。
ご利用にあたりワイモバイル株式会社、日本無線株式会社および別に掲載した認証会社は、万一何らかの損害が発生したとしても責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
認証会社：VeriSign, Inc. RSA Security,Inc. Entrust.net

ご不要となりました電話機本体、電池パック、卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店へお持ちください。

本書の見かた

本書では、以下のように操作方法について説明しています。



機能概要
機能の内容を簡単に説明しています。

お知らせ
機能の補足説明や、操作に関する注意事項などを記載しています。

操作手順
本電話機を操作する際の操作手順を、順に説明しています。
操作と操作の区切りを「►」でつないでいます。

ボタン（■ 📷 留守 応答 0、空 ～ 9 WXYZ など）

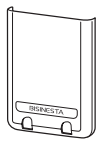
本書では、画面最下行に表示されたガイダンス表示（☞1-14ページ）を ・ ■ ･･ を押して実行する場合、■（発信）のようにカッコ内にガイダンス表示の内容を表記します。
ただし、■（決定）、■（OK）、･･（メニュー）および待ち受け画面でガイダンス表示がないときは、略して ・、■、･･ のみを表示しています。

セットを確認する

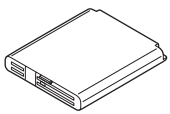
次のものが揃っているかどうかをご確認ください。万が一、不足のもの、破損品、クイックマニュアルの乱丁・落丁がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●本体　301JR（1台）

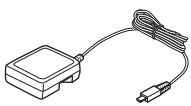
●電池カバー（1個）



●リチウムイオン電池パック NBB-9800（1個）



●ACアダプタ NBA-9650（1個）



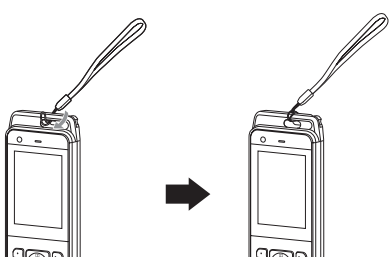
●クイックマニュアル（1部）

お知らせ

- 卓上ホルダ（NQE-9800）は別売です。
- USBケーブルは同梱しておりません。
- USBケーブル（別売）の仕様は「USB(A)オス－USB(micro-B)オス」となります。充電専用ケーブルはデータ通信には使用できません。

ハンドストラップを取り付けるには

お手持ちのハンドストラップを取り付ける場合は、本体から外れないことを確認してから使用してください（図は取り付け例です）。



お知らせ

- ハンドストラップは同梱しておりません。
- 金属製ストラップを取り付けると電波が入りにくくなる可能性があります。金属製ストラップは取り付けないでください。

こんなことができます

本電話機の代表的機能や便利な機能の一部をご紹介します。仕事や生活のさまざまな場面で本電話機をご活用ください。

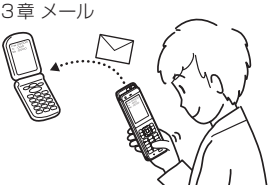
お使いになる前に、充電や日時の設定などの準備が必要です。
☞1章 ご使用になる前に

使う前の準備

電話帳や留守録音など便利な機能がたくさんあります。
☞2章 基本機能

電話で話そう

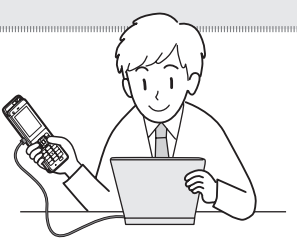
パソコンや他社の携帯電話にもメールが送れます。
☞3章 メール



メールを使おう

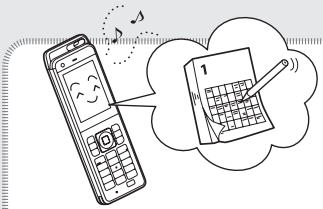
パソコン用のホームページも見ることができます。
☞4章 インターネット

ホームページを見よう



パソコンをインターネットに接続したり、パソコンとデータのやり取りができます。
☞5章 パソコンとの連携

パソコンとつなごう



予定を登録しておけば、音とメッセージで予定が近づいたことを知らせてくれます。
☞スケジュール機能を利用する（7-20 ページ）

スケジュールを管理しよう

番号非通知の電話の拒否や暗証番号によるロックなど、安全のための機能も充実しています。
☞6章 セキュリティ（安全）

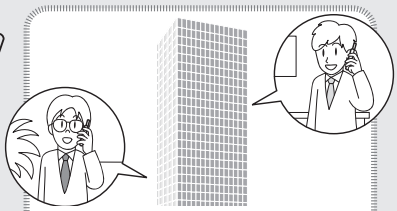
安全に使えます

ボタンを押すだけですぐに録音が開始できます。
☞ICレコーダを利用する（7-29 ページ）

ICレコーダで手軽に録音

メールやパソコンから受け取った画像など各種データを表示することができます。
☞データフォルダを活用する（7-42 ページ）

パソコン文書を見よう



事業所コードレスシステムの子機として利用できます
☞オフィスモードで使う（8-3 ページ）

オフィスシステムに対応

目 次

はじめに…… 0-1
本書の見かた…… 0-2
セットを確認する…… 0-3
　ハンドストラップを取り付けるには…… 0-3
こんなことができます…… 0-4
目　次…… 0-6
安全上のご注意―必ずお守りください…… 0-11
電波に関するご注意…… 0-20
取扱い上のお願い…… 0-21
防水／防塵性能について…… 0-24
　防水／防塵性能について…… 0-24
　ご使用の前には…… 0-24
　本電話機の防水／防塵上の注意事項…… 0-26
　濡れたときには…… 0-27
　利用シーン別の注意事項…… 0-27
　充電する際の注意事項…… 0-29
　ゴムパッキンについての注意事項…… 0-29

1 ご使用になる前に

充電する…… 1-2
　電池パックを取り付ける…… 1-2
　卓上ホルダ（別売）で充電する…… 1-4
　ACアダプタで充電する …… 1-5
電源を入れる／切る…… 1-8
　電源を入れる…… 1-8
　電源を切る…… 1-8
　電源OFF確認メッセージの表示を設定する … 1-8
各部の名前…… 1-9
　アンテナの使いかた…… 1-10
画面の見かた…… 1-11
　ガイダンス表示について…… 1-14
ボタンの使いかた…… 1-15
　項目の選択と決定のしかた…… 1-15
　メインメニューについて…… 1-16
　共通のボタン操作…… 1-16
日時を設定する…… 1-18

2 基本機能

電話をかける（発信）…… 2-2
　利用できるサービス…… 2-2
　利用できないサービス…… 2-2
　電話をかける…… 2-2
　より強い電波を探す（パワーサーチ）…… 2-3
　通話ごとに発信者番号の通知
　　／非通知を設定する …… 2-3
　記録されている電話番号にかける
　　（発信履歴／着信履歴／番号メモ）…… 2-3
　ポーズを利用する…… 2-5
　通話情報（累積）を確認する…… 2-5
電話を受ける（着信）…… 2-6
　相手の発信者番号が通知されないとき…… 2-6
　電話に出ないとき…… 2-6
　通話中に電話がかかってきたとき
　　（通信中着信）…… 2-6
通話中の操作…… 2-8
　受話音量を調節する…… 2-8
　通話を保留にする…… 2-8
　通話を録音する（通話録音）…… 2-8
　小声で話す（ひそひそ通話）…… 2-10
　手に持たずに通話する
　　（ハンズフリー通話／スピーカ受話）… 2-10
　通話中に電話帳を検索する…… 2-10
　通話中にスケジュールを確認する…… 2-10
　通話中に電話番号をメモする（番号メモ）… 2-11
　通話中にメモ帳に入力する…… 2-11
　通話中に自分の電話番号を確認する…… 2-11
　通話中に電話番号を送出する…… 2-11
文字を入力する…… 2-13
　文字入力画面について…… 2-13
　入力モードについて…… 2-13
　入力する文字の種類を切り替える…… 2-14
　ひらがなや漢字を入力する（漢字モード）… 2-15
　カタカナを入力する（カタカナモード）… 2-18
　英字を入力する（英字モード）…… 2-19
　数字を入力する（数字モード）…… 2-20
　改行を挿入する…… 2-20
　記号や絵文字を入力する…… 2-21
　文章を編集する…… 2-21
　定型文を引用する…… 2-23
　文字サイズを変更する…… 2-24
　面区点コードで入力する…… 2-24
電話帳を利用する…… 2-25
　電話帳に登録する…… 2-27
　電話帳を使って電話をかける…… 2-30
　短縮番号で電話をかける…… 2-32
　電話帳の内容を編集する…… 2-32
　電話帳の内容を削除する…… 2-32
　電話帳のグループ設定を変更する…… 2-33
　電話帳ロック中の着信表示を設定する…… 2-34
　シークレットデータを一時的に表示する
　　（シークレット一時表示）…… 2-34
　電話帳の登録件数を確認する
　　（登録件数表示）…… 2-34
　赤外線通信を行う…… 2-35
音を調整する…… 2-38
　受話音量を設定する
　　（受話音量／スピーカ音量）…… 2-38
　ひそひそ通話を設定する
　　（ひそひそ通話設定）…… 2-38
　ノイズキャンセラを設定する…… 2-38
　着信音を設定する…… 2-39
　マナーモードを設定する…… 2-42

特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）…… 2-43
安全運転モードを設定する…… 2-43
キー確認音を設定する（効果音）…… 2-44
成功／エラー音を設定する（効果音）…… 2-44
圏外／充電警告音を設定する（効果音）… 2-45
送達確認音を設定する（効果音）…… 2-45
保留音を設定する…… 2-45
相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）…… 2-46
通話環境の設定を行う（通話環境設定）… 2-47
留守録音を設定する……2-48
留守録音を設定／解除する…… 2-48
留守録音の応答メッセージを設定する…. 2-48
録音されたメッセージを再生／削除する… 2-49
マイメニューを利用する……2-51
マイメニューに登録する…… 2-51
マイメニューから操作する…… 2-51
マイメニューから削除する…… 2-51

3 メール

メールについて…… 3-2
Eメールについて …… 3-2
SMSについて…… 3-3
メールBOXについて…… 3-4
メールメニューを表示する…… 3-4
Eメールアドレスを作成する …… 3-5
Eメールアドレス設定の流れ …… 3-5
オンラインサインアップを行う…… 3-6
Eメールを作成送信する …… 3-7
Eメールを新規に作成して送信する …… 3-7
Eメールを保存し、まとめて送信する …… 3-9
受信したメールを読む……3-11
Eメールを受信する …… 3-11
受信メールを表示する…… 3-12
受信BOXのフォルダを活用する…… 3-14
送信メールを読む……3-16
送信メールを表示する…… 3-16
送信メールを編集して送信する…… 3-16
メールを管理する……3-17
メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する …… 3-17
メール本文の文字をコピーする…… 3-18
メールを削除する…… 3-18
メールを保護する…… 3-19
メールを並べ替える（ソート）…… 3-20
メールを抽出する（フィルタ）…… 3-21
メールのヘッダ情報を表示する…… 3-21
文字サイズを切り替える…… 3-21
メールBOXの使用状況を見る…… 3-22
Eメールの環境を設定する ……3-23
本文の引用について設定する…… 3-23
フォルダ表示を切り替える…… 3-23
添付された音楽ファイルの自動再生を設定する…… 3-23
Eメール自動受信機能を設定する …… 3-23
送信するメールに表示する名前を設定する 3-24
署名を設定する…… 3-24
返信メールアドレスを設定する…… 3-24
Eメールをサーバに保存する …… 3-25
Eメールの受信行数を設定する …… 3-25
プロバイダのメールアカウントを利用する·3-26
メールアカウントを設定する…… 3-26
SMSを使用する ……3-28
SMSを作成して送信する…… 3-28
受信したSMSを読む …… 3-29
SMS配信レポートを設定する…… 3-29

4 インターネット

Webの基本操作…… 4-2
Webの利用を開始する／終了する …… 4-2
公式サイトを表示する…… 4-2
前のページに戻る／次のページに進む…… 4-2
Webページ上の電話番号に電話をかける … 4-3
Webページの電話番号にSMSを送信する·· 4-3
WebページのEメールアドレスにメールを送信する…… 4-3
端末情報を通知する…… 4-4
フレームを選択する…… 4-4
ホームページを利用する…… 4-5
ホームページを設定する…… 4-5
ホームページを表示する…… 4-5
アドレスを使ってWebページに接続する… 4-6
アドレスを入力してWebページに接続する·4-6
最後に表示していたWebページに接続する·4-6
アドレスの入力履歴からWebページに接続する（入力履歴）…… 4-6
Webページの表示履歴を利用する …… 4-7
履歴からWebページに接続する（履歴）…. 4-7
履歴のアドレスを確認する…… 4-7
Webページの表示履歴を削除する …… 4-7
タブを利用して複数のWebページを開く… 4-8
リンクを新しいタブで開く…… 4-8
表示するタブを切り替える…… 4-8
表示中のタブを閉じる…… 4-8
表示していないタブを閉じる…… 4-8
ブックマークを利用する…… 4-9
ブックマークを登録する…… 4-9
ブックマークに登録したWebページに接続する…… 4-9
ブックマークにフォルダを作成する …… 4-9
ブックマークフォルダ名を変更する …… 4-9
ブックマークのタイトルやアドレスを編集する…… 4-10
ブックマークを移動する…… 4-10
マイメニューにブックマークを登録する·· 4-10
ブックマークを削除する…… 4-10
Webページを検索する……4-12
インターネット上のWebページを検索する（インターネット検索）…… 4-12
Webページ内の文字列を検索する（文字列検索）…… 4-12

ページメモを利用する……4-13
ページメモを保存する…… 4-13
ページメモを表示する…… 4-13
ページメモのタイトルを編集する…… 4-13
ページメモのアドレスを確認する…… 4-13
ページメモを保護／保護解除する…… 4-13
ページメモを削除する…… 4-14
Webページに関する機能を活用する……4-15
Webページを再読み込みする（再読込み） 4-15
Webページの画像を保存する …… 4-15
Webページ内の文字列をコピーする…… 4-15
Webページの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する…… 4-16
BGMの音量を調整する（音量調節）…… 4-16
BGMのサウンドデータを保存する（BGサウンドリスト）…… 4-16
Webページの先頭／末尾にジャンプする… 4-17
文字サイズを変更する（文字サイズ）…… 4-17
文字コードを変更する（エンコード）…… 4-17
Webページの情報（プロパティ）を表示する…… 4-17
ファイルをダウンロードする…… 4-18
ファイルをアップロードする…… 4-19
ブラウザの各種機能を設定する……4-20
JavaScriptの有効／無効を設定する（JavaScript）…… 4-20
アニメーションの表示／非表示を設定する（アニメーション）…… 4-20
画像の表示方法を設定する（画像）…… 4-20
テーブル機能の有効／無効を設定する（テーブル）…… 4-20
自動判別する言語を設定する（自動判別言語）…… 4-21
BGMの再生を設定する（BGM）…… 4-21
画面の表示幅を設定する（表示モード）… 4-21
画面のスクロール量を設定する（スクロール）…… 4-22
画面の表示倍率を変更する（ズーム）…… 4-22
キャッシュに関する設定を行う（キャッシュ）…… 4-22
Cookieに関する設定を行う（Cookie）… 4-23
最大リフレッシュ回数を設定する（最大リフレッシュ回数）…… 4-23
最大リダイレクト回数を設定する（最大リダイレクト回数）…… 4-24
ポップアップブロックを設定する（ポップアップブロック）…… 4-24
認証データの有効／無効を設定する（認証データ）…… 4-24
ユーザエージェントを選択する（ユーザエージェント）…… 4-24
証明書の有効／無効を設定する（証明書）… 4-25
ブラウザに関する各種設定を確認する（設定確認）…… 4-25
接続先を変更する（インターネット設定）…4-26
ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）…… 4-26
接続モードを設定する（接続モード）…… 4-29
接続モードを選択する…… 4-30
接続モードを初期化する…… 4-30

5 パソコンとの連携

パソコンと接続する…… 5-2
パソコンと接続する…… 5-2
データ通信を行う…… 5-3
データ通信について…… 5-3
USBドライバのインストール…… 5-5
USBドライバをインストールする…… 5-5
通信方式を設定する…… 5-15
データ通信で発信する…… 5-16
パソコン接続中に着信する…… 5-17
データ通信中の着信を設定する…… 5-17

6 セキュリティ（安全）

発信者番号通知を設定する（番号通知）…… 6-2
番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）6-3
特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）6-4
着信拒否番号を登録する……6-4
着信拒否番号を削除する……6-4
着信拒否時の動作を設定する……6-5
暗証番号による認証を行う（暗証番号変更）… 6-6
暗証番号を設定する……6-6
暗証番号で認証を行う……6-6
ボタン操作をロックする（キーロック）…… 6-7
キーロックを設定する……6-7
キーロックを解除する……6-7
無操作が続いたときにキーロックする……6-7
ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）… 6-8
キーロック時にダイヤルロックする（キーロック起動）……6-8
無操作が続いたときにダイヤルロックする（タイマ起動）……6-8
紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）……6-10
リモートロック機能の概要…… 6-10
リモートロック機能の設定をする…… 6-11
リモートロックを実行する…… 6-12
ユーザの情報をロックする（機能ロック）…6-14
ロックする項目を設定する…… 6-14
機能ロック一覧…… 6-15
管理者による制限を行う（管理者ロック）…6-16
管理者ロック機能の概要…… 6-16
管理者パスワードを設定する…… 6-16
管理者パスワードで認証を行う…… 6-17
管理者ロック機能の設定をする…… 6-17
指定した時間に圏外状態にする（指定時間制限）…… 6-22
設定をリセットする（リセット）……6-24

7 便利な使いかた

メニュー一覧表…… 7-2
いろいろな機能を設定する…… 7-6

プロフィールを表示する…… 7-6
USBで充電する…… 7-7
時計表示を設定する…… 7-8
自動時刻補正を設定する…… 7-8
カレンダーを設定する…… 7-9
バックライトを設定する…… 7-9
着信ランプを設定する…… 7-10
省電力モードを設定する…… 7-11
デュアルモード時の省電力を設定する（デュアル圏外サーチ）…… 7-12
サブアドレスを設定する…… 7-12
エニーキーアンサーを設定する…… 7-13
英語表示にする…… 7-13
メインメニュー画面を変更する……7-14
メインメニュー画面を切り替える…… 7-14
シンプルメニュー画面に切り替える…… 7-15
カスタムボタンを設定する……7-16
カスタムメニューと短押し／長押しでの呼び出しについて…… 7-16
カスタムメニューに登録する…… 7-17
カスタムメニューに短押し／長押しを設定する…… 7-18
ガイダンスを編集する…… 7-18
スケジュール機能を利用する……7-20
カレンダーを表示する…… 7-20
スケジュールを登録する…… 7-21
スケジュールの内容を表示する…… 7-23
スケジュールの内容を変更する…… 7-24
スケジュールを削除する…… 7-25
アラームを利用する……7-26
電卓を利用する……7-28
ICレコーダを利用する ……7-29
音声を録音する…… 7-29
音声を再生する…… 7-29
音声データを編集する…… 7-30
音声データを削除する…… 7-30
メモ帳を利用する……7-32
メモを入力する…… 7-32
メモを表示する…… 7-32
メモを編集する…… 7-32
メモを削除する…… 7-33
位置情報を利用する……7-34
位置情報通知機能の概要…… 7-34
位置情報通知機能を設定する…… 7-36
通知許可番号を登録する…… 7-36
通知先を選択する…… 7-36
位置情報が通知されたときの着信音を設定する…… 7-36
位置情報通知機能の設定をリセットする‥ 7-36
自己位置通知機能を利用する…… 7-37
緊急速報を利用する（緊急速報）……7-38
受信した緊急速報を読む…… 7-38
緊急速報機能を設定する（緊急速報受信設定）…… 7-38
過去に受信した緊急速報を確認する（緊急速報受信履歴）…… 7-38
緊急速報の警報音を設定する（警報音鳴動設定）…… 7-38
緊急速報の警報音音量を設定する（警報音音量）…… 7-38
マナーモード時の緊急速報の警報音を設定する（マナーモード時警報音鳴動）7-39
緊急速報の警報音を確認する（警報音確認）7-39
イヤホンマイクを利用する……7-40
イヤホンマイクの使いかた…… 7-40
イヤホン装着時の鳴動先を設定する…… 7-40
イヤホン自動応答を設定する…… 7-40
イヤホン装着時に電話を受ける…… 7-41
データフォルダを活用する……7-42
データフォルダについて…… 7-42
データフォルダを表示する…… 7-43
画像データを活用する…… 7-44
画像データを赤外線通信で送信する…… 7-45
サウンドデータを活用する…… 7-45
録音データを活用する…… 7-46
テキストデータを開く…… 7-47
HTMLデータを開く …… 7-48
Javaアプリケーションを活用する…… 7-48
データを管理する…… 7-51
フォルダを管理する…… 7-55
災害時に自分の声を送る（災害用音声お届けサービス）……7-57
災害用伝言板にアクセスする（災害用伝言板）……7-58
国際電話をかける（ワイモバイル国際電話サービス）……7-59
ワイモバイルのサービスを利用する……7-60
料金分計サービスを利用する（有料）…… 7-60
留守番電話サービスを利用する（有料）… 7-60
迷惑電話かどうかをお知らせする（モバイル迷惑電話チェッカー）（有料）7-61
着信転送サービスを利用する…… 7-62
通話中にかかってきた電話を受ける（割込通話）（有料）…… 7-62
高速化サービスを利用する（高速化サービス追加設定）（有料）…… 7-63
着信お知らせ機能を利用する(無料）…… 7-63
ビジネス安心サービスを利用する（有料）· 7-64
ソフトウェアを更新する……7-66
ソフトウェア更新通知機能を設定する…· 7-67

8 モードの活用

利用するモードを選ぶ…… 8-2
待受モードについて…… 8-2
待受モードを切り替える（待受モード設定）· 8-2
オフィスモードで使う…… 8-3
電話をかける…… 8-3
電話を受ける…… 8-4
電話を転送する…… 8-4
外線発信番号を登録する（外線発信番号）··· 8-4
自動的に外線発信番号を付ける（自動外線発信番号付加）…… 8-4

優先発信するモードを切り替える
（優先発信切替）……8-5
発信するモードを一時的に切り替える……8-5
発信時に発信方法の指定をする（発信時選択）8-5
確認メッセージの表示を設定する
（ショートカット確認画面）……8-5
電話帳で発信方法の指定をする……8-6
オフィス番号を切り替える
（オフィス番号切替）……8-7
オフィスEメールを送受信する……8-7
オフィスモードでのその他の機能……8-7
オフィスメールを作成して送信する……8-8
受信したオフィスメールを読む…… 8-10
送信したオフィスメールを読む…… 8-11
オフィスメール本文の電話番号、
メールアドレス、URLを利用する …… 8-12
オフィスメール本文の文字をコピーする‥ 8-13
オフィスメールを削除する…… 8-13
オフィスメールを保護する…… 8-13
オフィスメールを並べ替える（ソート）… 8-14
オフィスメールを抽出する（フィルタ）… 8-15
グループモードで使う……8-16
グループを登録する…… 8-16
グループ登録を削除する…… 8-17
相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕…… 8-17
相手の呼び出しに応じる
〔トランシーバ通話〕…… 8-17
グループ内で電話帳やブックマークを
転送する（電話帳/ブックマーク転送）…8-18

9 困ったときは

故障かな？ちょっと確認してください…… 9-2
エラーメッセージ一覧…… 9-5

付　録

記号・絵文字一覧…… A-2
面区点コード表…… A-3
定格・仕様……A-29
商標・登録商標……A-30
索　引……A-31
お問い合わせ窓口……A-36
本電話機に関するご相談…… A-37

安全上のご注意—必ずお守りください

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、お読みになった後はこの取扱説明書を大切に保管してください。
●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危険や損害の程度を説明しています。

⚠	**危険**	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠	**警告**	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠	**注意**	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	接触禁止	触れてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

注意	注意を示します。

［免責事項について］

●地震、雷、風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害について、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通話・録音・通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●当社指定外の接続機器（パソコンなど）、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●本商品の故障、修理、その他取扱いによって、ダウンロードしたデータなどが変化または消失することがありますが、これらデータの修復により生じた損害、逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●お客様自身で登録された情報内容は、故障や障害の原因にかかわらず保障いたしかねます。情報内容・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

次ページにつづく

電話機本体、電池パック、卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタの取扱いについて

⚠ 危　険

本電話機に使用する電池パック、卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタは、下記指定のものをご使用ください。

・リチウムイオン電池パック　NBB-9800
・ACアダプタ　NBA-9650
・卓上ホルダ（別売）　NQE-9800

上記指定以外のものを使用した場合は、電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、火災・爆発の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器に、電池パック、本電話機、卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタを入れないでください。特に水没したときなど、濡れたときに電子レンジで加熱するようなことは絶対にやめてください。

電池パックの液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火や、本電話機、卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタの発熱、発煙、発火や故障の原因となります。

直射日光の強い場所や、炎天下の車内、火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火、機器の変形、故障の原因となります。

⚠ 警　告

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。また、電池パックに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因になります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注　意

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温となる場所には保管しないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。

本電話機は周囲の環境による電波障害や受信状態によって通話ができなくなる場合があります。

直射日光の強い場所や、炎天下の車内、火のそば、ストーブのそば、こたつの中などの高温の場所での使用、放置はしないでください。

ケースの一部が熱くなり、やけどのおそれがあります。

イヤホンマイク（別売）を使用するときは、音量に注意してください。

周囲の音が聞こえにくくなって事故の原因となることがあります。また、聴力低下の原因となることがあります。

電話機本体の取扱いについて

⚠ 危　険

本電話機は防水機能を有しておりますが、万一水やペットの尿などの液体が本電話機の内部に入ると、発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

⚠ 警　告

ハンズフリー通話やスピーカ受話の際は、必ず本電話機を耳から離して使用してください。

難聴になる可能性があります。

本電話機より煙が出たり、異臭がするときは、直ちに電源を切ってください。

そのままご使用になると、火災の原因になります。ワイモバイルカスタマーセンターにご連絡ください。

アンテナ、ストラップなどを持って本電話機を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

次ページにつづく

航空機内など、使用を禁止された区域では、本電話機の電源を切ってください。

電子機器に影響をおよぼす場合があります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、本電話機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

＊ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、心臓ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。心臓ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

屋外で使用中に雷が発生した場合は、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

振動や着信音が身体に影響を与える原因となります。

医用電気機器（心臓ペースメーカ等）などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

本電話機を医用電気機器などの近くで使用すると、電波の影響で医用電気機器などの誤動作や故障の原因となる恐れがあります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所や近くに心臓ペースメーカを装着している方がいる場合は、本電話機の電源を切るようにしてください。

電波が心臓ペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

自動車や自転車等を運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。乗り物を運転しながらPHS電話機等を使用することは、危険なため法律で禁止されており罰則の対象となります。自動車や自転車を安全なところに停車させてからご使用ください。

本電話機のすき間などに金属や異物を差し込まないでください。

感電や故障の原因となります。

分解、改造をしないでください。

火災、けがなどの事故または故障の原因となります。

病院内でのご利用にあたっては、必ず各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。

人の多い場所では、使用しないでください。

アンテナが人に当たり、けがの原因となります。

⚠ 注　意

ズボンやスカートの後ろポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

破損や故障の原因となります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう原因となります。

本電話機を胸ポケットに入れたまま、かがまないでください。

本電話機が落下して、故障あるいは人に当たりけがの原因となることがあります。

磁気カードなどを本電話機に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

本電話機に乗らないでください。特に小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください。

転んだり、壊したりしてけがの原因となることがあります。

建築構造やアンテナの取付位置により、通話ができない場合や通話範囲が狭くなったり、雑音が入ったり通話が途切れる場合があります。また、設置後において電波状態の変化により使用できなくなることがあります。

本電話機はオフィスシステムの主通信網と併用して使用されるように設計されています。電波障害や電池消耗の影響を受けますので、必ず補助的なものとしてご使用ください。

本電話機だけでは重要な連絡が取れなくなる場合があります。

外部からの電気雑音の影響を受けて、通話中に雑音が入ったり、通話ができなくなることがあります。このようなときはしばらく待つか、本電話機を雑音源から遠ざけてください。

雑音源としては、テレビ・ラジオ・パソコン・ファクシミリ・ワープロ・複写機などのAV・OA機器および自動車、オートバイなどがあります。

電池パックの取扱いについて

この電池パックは可燃性の液体等を使用しています。取扱いを誤りますと破裂、発火、発煙のおそれ、性能低下、故障の原因となりますので、次の禁止事項を必ずお守りください。

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

次ページにつづく

⚠ 危　険

電池パックは火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所や炎天下などでの使用、放置はしないでください。

高温になると危険を防止するための保護装置が働いて充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電されたりして、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また、熱により樹脂セパレータが損傷した場合には、電池パックがショート状態となり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックには、プラス・マイナスの向きが決められています。電池パックを本電話機にうまく接続できない場合は無理に接続しないでください。また電池パックのプラス・マイナスの向きを確かめてから接続してください。

電池パックのプラス・マイナスを逆に接続すると、電池パックが逆に充電されて内部で異常な化学反応が起こったり、放電時に思わぬ異常な電流が流れたりして、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

絶対に火の中に投げ入れたり、加熱しないでください。

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、内部の液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックが破裂したり、変形したりして、内部でショート状態になり発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックの充電には、専用の卓上ホルダ（別売）およびACアダプタまたはパソコンとUSBケーブル（別売）を使用してください。

その他の改造した充電器などで充電しますと、電池パックが過度に充電されたり、異常な電流で充電されたりして、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックの内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。

皮膚に障害を起す原因となります。

電池パックの内部の液が漏れだした場合は、絶対に素手で触れないでください。

素手でさわると、やけどをする場合があります。万一、目に入った場合は、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で洗い落として、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える結果となります。

水や海水、ペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。

電池パックの発熱、発煙、破裂、発火や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

電池パックのプラスとマイナスの端子を針金などの金属類などで接続しないでください。また、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックがショート状態となり、過大な電流が流れ発熱、発煙、破裂、発火したり、あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱したりする原因となります。

分解、改造をしないでください。また、直接ハンダ付けしないでください。

電池パックには、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

外傷、変化の著しい電池パックは使用しないでください。

発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックを電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに接続しないでください。

高い電圧を加えられることによって電池パックに過大な電流が流れ、発煙、破裂、発火の原因となります。この電池パックを指定機器以外の用途に使いますと、電池パックの性能や寿命が低下したり、機器によっては、異常な電流が流れたりして電池パックが破損したり発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⚠ 警　告

電池パックが液漏れしたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。

液漏れした内部の液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックの液漏れや、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、本電話機から取り外し、使用しないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

濡れた手で電池パックを交換しないでください。

発火や故障の原因となります。

次ページにつづく

⚠ 注　意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

電池パックの充電温度範囲は5℃～35℃（一時使用なら36℃～40℃も可）です。
この温度範囲以外で充電すると、液漏れや発熱の原因となったり、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。

卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタの取扱いについて

⚠ 警　告

ＡＣアダプタには必ずAC100Vを使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、故障の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

万一、卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタを落としたり、破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用されると、火災、感電の原因となりますので、ワイモバイルカスタマーセンターにご連絡ください。

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
感電の原因となります。

充電中は卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタを安定した場所に置いてください。また、卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
本電話機が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

コンセントにつながれた状態で電源端子を絶対にショートさせないでください。また、電源端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
故障、けが、感電、火災の原因となります。

コードなどを持って卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタを振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

コードが傷んだら使用しないでください。
感電、火災、故障の原因となります。

コードを無理に曲げたり、束ねたりして傷つけないでください。
故障や感電、火災の原因となります。

卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタのすき間などに金属や異物を差し込まないでください。
感電や故障の原因となります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。
発熱、火災の原因となります。

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントからＡＣアダプタの電源プラグを抜いてください。
感電、発熱、火災の原因となります。

卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタから煙が出たり、異臭がするときは、すぐにＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いて安全な場所に移動してください。
そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険です。絶対におやめください。ワイモバイルカスタマーセンターにご連絡ください。

近くに雷が発生した場合は、安全のため、すぐにコンセントからＡＣアダプタの電源プラグを抜いてください。
火災、感電、故障の原因となります。

充電終了後はＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。
感電、火災、故障の原因となります。

卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタの電源プラグを濡らさないでください。
電池パックの発熱や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

濡れた手で卓上ホルダ（別売）、ＡＣアダプタの電源プラグやコンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

次ページにつづく

⚠ 注　意

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張らず、ケース全体を持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。
発熱、発火、破裂の原因となることがあります。

卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタに乗らないでください。
＜特に、小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください＞
転んだり、壊したりしてけがの原因となることがあります。

ＡＣアダプタのコードの上に重いものをのせたり､改造したりしないでください。
感電や火災の原因となります。

電波に関するご注意

本電話機は、1.9GHz帯を使用するデジタルコードレス電話です。この周波数帯ではPHSの無線機のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
本電話機は、同一周波数を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本電話機から他の無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに電源をOFFにして電波の発射を停止し、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行ってください。
上記事例が発生したなど、何かお困りのことが起きた場合は、JRCサポートセンターまでお問い合わせください。

取扱い上のお願い

■はじめに

この製品は総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けてある銘板をはがさないでください。

製品を分解して改造することは法律により禁止されています。不法に改造を加えてご使用になると、法律により罰せられることがあります。

■共通のお願い

本電話機に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

お手入れは乾いた柔らかい清潔な布で行ってください。

濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

本電話機の充電端子や卓上ホルダ（別売）の電源端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた柔らかい清潔な布、綿棒などで拭いてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■付属品についての共通のお願い

水につけたり濡らしたりしないでください。

電池パック、卓上ホルダ（別売）およびACアダプタには防水／防塵性能がありません。

風呂場などの湿気の多い所で使用しないでください。また、雨などの水滴がかからないようにしてください。故障の原因となり保証の対象外となります。

汗や水がついた場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。水に濡れた場合はただちに使用を中止してください。

■電話機本体についてのお願い

極端な高温、低温はさけてください。

温度は0℃～40℃、湿度は35%～85%の範囲でお使いください。

本電話機を直射日光のあたる場所や、ほこりの多い場所ではご使用にならないでください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合があります。

電子レンジをご使用のときには…。

電磁波の影響で雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

電子機器から発生されるノイズ等により、本電話機の動作に影響を与える場合があります。

水にぬれたり、汚れが付着した場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

ディスプレイやケースを硬い布などで強くこすると、傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい清潔な布（めがね拭きなど）で行ってください。

また、ディスプレイに水滴や汚れが付着したまま放置すると、染みになったりしますので、すみやかに拭き取るようにしてください。

汗をかいた手でさわったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。汗が内部に浸入し故障の原因になります。汗や水がついたときにはすぐに乾いた柔らかい清潔な布で拭いてください。

USB端子、充電端子に水や汚れを付着させないでください。

本体内部に浸水させたり、電池パック、卓上ホルダ（別売）、ACアダプタに水をかけたりしないでください。

水滴がついたままでの電池パックの取り付け・取り外し、電池カバーおよびUSB端子のキャップの開閉は行わないでください。水が侵入して本電話機内部の腐食の原因となります。お客様の不適切な使用によって故障した場合に、弊社内で調査した結果、原因が水の浸入（浸水）による故障と判明した場合には、保証対象外となります。

本電話機は耐熱設計ではありません。熱湯につけたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤなど）を当てたりしないでください。

以下の場合には、本電話機の内部に水滴（結露）が付き、故障の原因となる場合があります。

・寒い戸外から急に温かい屋内に移動した場合

・湿気が極端に多い場所で使用した場合

・エアコンの吹き出し口付近で使用した場合

充電時には次の点を確認してください。

本電話機が濡れていないか確認してください。濡れている場合には、乾いた手で、乾いた柔らかい清潔な布で丁寧に水をふき取ってから充電してください。

USB端子のキャップを開いてACアダプタで充電した場合には、充電後にUSB端子のキャップがしっかり閉められているか確認してください。USB 端子のキャップがしっかり閉められていないと、水の侵入（浸水）の原因になります。USB端子からの水の侵入（浸水）を防ぐために、卓上ホルダ（別売）を使用して充電することをお勧めします。

■電池パックについてのお願い

充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃。一時使用なら36℃～ 40℃も可）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化の具合により異なります。

直射日光があたらず、風通しのよい涼しい場所に保管してください。

長時間使用しないときは、高温多湿を避けて、本電話機から外して保管してください。

電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

電池パックは電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

電池パックは消耗品です。

使用状態によっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタについてのお願い

周囲の温度が 10℃～ 40℃の所でご使用ください。

次のような場所では充電しないでください。

湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作や故障の原因となります。）

一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く（ラジオなどに雑音が入ることがあります。）

充電中、卓上ホルダ（別売）およびＡＣアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

防水／防塵性能について

301JRは、電池カバーをしっかり閉め、USB端子のキャップをしっかり閉めた状態で、IPX5相当/IPX7相当の防水性能（当社試験方法による）およびIP5X相当の防塵性能を有しておりますが、これは完全防水／防塵を保証するものではありません。
下記の注意事項をお読みのうえ、適切な方法でご利用されるようお願いいたします。

防水／防塵性能について

IPX5相当の防水性能

301JRはIPX5相当の防水性能を有しています。
防水性能IPX5相当とは、本電話機の電池カバーをしっかり閉め、USB端子のキャップをしっかり閉めた状態で、内径6.3㎜のノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。

IPX7相当の防水性能

301JRはIPX7相当の防水性能を有しています。
防水性能IPX7相当とは、本電話機を常温の水道水、かつ水深1mの静水に、電池カバーをしっかり閉め、USB端子のキャップをしっかり閉めた状態で静かに沈め、30分間放置後に取り出した後に電話機としての機能を有することを意味します。
※耐水圧設計ではありませんので、高い水圧で水をかけたり、長時間水中に放置したりなどはしないでください。

IP5X相当の防塵性能

301JRはIP5X相当の防塵性能を有しています。
防塵性能IP5X相当とは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れかくはんさせ、取り出したときに通信機器の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

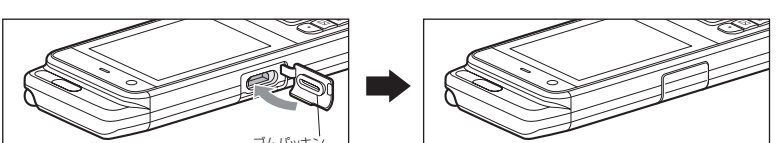
実際の使用に当たって、すべての状況で動作を保証するものではありません。弊社内で調査した結果、お客様の不適切な使用による故障と判明した場合には、保証対象外となります。

ご使用の前には

防水性を保持するために、次の点を必ずご確認ください。

● **USB端子のキャップ**

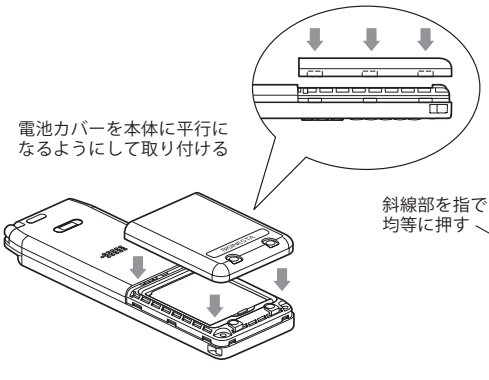
以下の要領できっちりと閉じてください。



1.キャップを押し込みます。　2.きっちりと閉まったことを確認します。

● **電池カバー**

電池カバー裏面の接合部分にゴムパッキンが付いていることを確認してから、以下の要領で取り付けてください。



1.電池カバーを本体に対して
平行になるように置きます。

2.電池カバーの斜線部分を押し、
完全に取り付けます。
最後にきっちりと閉まったこ
とを確認します。

ご注意

- 電池カバーおよびUSB端子のキャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、カバーやキャップにゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると、本体内部に浸水する原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

本電話機の防水／防塵上の注意事項

・電池カバーを本電話機に取り付けて、しっかり閉めてください。またUSB端子のキャップをしっかり閉めてください。電池カバーやキャップが浮いているところがないことを確認してからご使用ください。すき間に髪の毛1本程度の微細なものでも挟まった場合、水が付着した際に本体内部に浸水することがあります。

・電池カバーおよびUSB端子のキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、本体内部に浸水し、感電や故障の原因となることがあります。その場合には、使用を中止し、電源を切り、電池パックを外し、ワイモバイルカスタマーセンターへご連絡ください。「お問い合わせ窓口」（☞A-36ページ）

・水につけた状態では使用（キャップ等の開閉やキー操作も含む）しないでください。また水中に長時間放置しないでください。故障の原因になります。本電話機は水に浮きません。

・手が濡れているときや本電話機に水滴が付いている状態で、電池カバーおよびUSB端子のキャップの開閉をしないでください。

・電池カバーおよびUSB端子のキャップのゴムパッキンに水滴や汚れ、砂粒、泥などがわずかでも付着している場合、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

・海水、温泉、プールの水や、石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤、薬品などの入った水には絶対につけないでください。もし、誤って付着した場合、そのままにせず、すみやかに洗面器などに溜めた水道水で洗ってください。洗う際にはブラシなどは使用せず、電池カバーおよびUSB端子のキャップが開かないように押さえたままで洗ってください。
また、蛇口からの流水は直接当てないでください。洗濯機や超音波洗浄機等で洗わないでください。

海水

温泉

プール

せっけん／洗剤／シャンプー／リンス

入浴剤

流水

・送話口（マイク）、スピーカなどを先がとがったものでつつかないでください。防水／防塵性能が損なわれる原因となります。

・送話口（マイク）、スピーカに水滴を残さないでください。通話不良の原因となる恐れがあります。

・本電話機は耐熱設計ではありません。熱湯をかけたり、サウナで使用したり、またドライヤなどの熱風を当てたりしないでください。

・本電話機は防湿設計ではありません。お風呂場、キッチンなど、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

・本電話機の防水性能は、常温の真水・水道水にのみ対応しています。

・本電話機を落下させると、衝撃により傷の発生や防水／防塵性能を劣化させることがあります。本電話機を落下させるなどした場合には、防水／防塵性能の保証を負いかねます。取扱いには十分ご注意ください。

・電池カバーが破損した場合には内部に水が入り、感電や電池の腐食など故障の原因となります。その場合は電池カバーを交換してください。

・本電話機を砂浜などの上に直接置かないでください。送話口（マイク）スピーカなどに砂粒などが入り、音が聴き取りにくくなる恐れがあります。

・本電話機に使用する卓上ホルダ（別売）、ACアダプタ、電池パックなどは防水／防塵性能を有してはおりません。水分や湿気のある場所で使用しないでください。

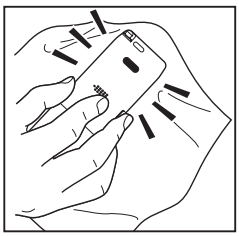
濡れたときには

・本電話機が濡れたときには、乾いた手で、乾いた柔らかい清潔な布をご使用の上、次の手順で丁寧に拭いてください。

1　電源を切る

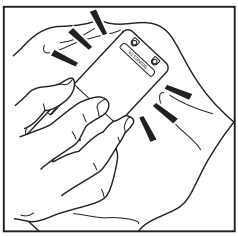
2　受話口、送話口、スピーカ、アンテナ収納部分に入った水を軽くたたいて取る

●受話口の場合



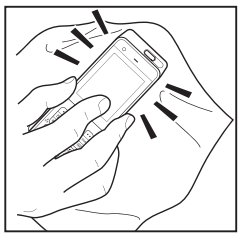
図のように本電話機を持ち、軽くたたいて受話口に入った水を布でふき取ってください。

●送話口の場合



図のように本電話機を持ち、軽くたたいて送話口に入った水を布でふき取ってください。

●スピーカの場合



図のように本電話機を持ち、軽くたたいてスピーカに入った水を布でふき取ってください。

●アンテナ収納部分の場合

軽くたたいてアンテナ収納部分に入った水を布でふき取ってください。

3　本電話機全体を拭く

4　電源を入れる

・充電端子およびUSB端子がショートする恐れがあるため、水滴が付着したまま放置しないでください。また、濡れている状態で充電しないでください。

・寒冷地で本電話機に水滴が付着したまま放置すると凍結することがあります。凍結した状態で使用すると故障の原因になりますので、水分が付着したら必ず拭き取ってください。

・本電話機に水滴が付着した状態で放置しないでください。本電話機はボタンの周囲に水分が入り込む構造になっていますが、水分が入り込んだ場合は本電話機を垂直にし、軽くたたくなどして払い落としてください。その際、本電話機を落下させないよう十分注意してください。払い落とせず残った水分は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

・本電話機に水や雪がついた状態のままにすると、本体に付着した水や、すき間にたまった水で服やバッグを濡らす場合がありますのでご注意ください。

・電子レンジ、オーブンやドライヤ等で乾燥させないでください。

利用シーン別の注意事項

雨の中で

・電池カバーおよびUSB端子のキャップをしっかり閉じた状態で、雨の中で使用することができます。

・「やや強い雨※」の中で、傘をささずに通話できます。

・雨の中や、手が濡れているとき、あるいは水滴が付いたままでの電池カバーの取り外しや、USB端子のキャップの開閉は絶対に行わないでください。

※やや強い雨とは、1時間の雨量が10mm以上20mm未満。

洗う

・汚れた場合、洗面器などに溜めた水道水で洗うことができます。
・洗う際にはブラシなどは使用せず、電池カバーおよびUSB端子のキャップが開かないように手で押さえたまま洗ってください。
・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。また、洗面器などの水の中に、長時間放置しないでください。
・本電話機は水に浮きません。水の中に投げ入れたりせずに、手で持った状態で取り扱ってください。
・本電話機を洗濯機や超音波洗浄機や食器洗い機などに入れて洗わないでください。

お風呂場で

・電池カバーおよびUSB端子のキャップをしっかり閉じた状態で、お風呂場で使用することができます。濡れた手で持って通話することもできますが、湯船にはつけないでください。
・水道水や真水の中につけることはできますが、温泉や石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤などの入った水にはつけないでください。
・水につけた状態では使用（キャップ等の開閉やキー操作も含む）しないでください。故障の原因になります。
・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。
・使用する場所によっては、電波が入りにくくなることがあります。
・使用場所の急激な温度の変化は、結露の原因となり、故障につながります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本電話機を持ち込む場合には、本電話機が常温になったことを確認してから持ち込んでください。
・ディスプレイパネルの内側に結露が発生した場合には、結露が取れるまで常温の状態で放置してください。
・お風呂場での長時間のご使用は避けてください。
・本電話機を浴槽につけたり、落下させたりしないよう注意してください。
・本電話機は耐熱設計ではありません。熱湯につけたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤなど）を当てたりしないでください。
・周囲温度0℃～40℃、湿度35%～85%の範囲で使用してください。
・本電話機に使用する卓上ホルダ（別売）、ACアダプタ、電池パックなどは防水性能を有してはおりません。お風呂場には持ち込まないでください。

キッチンで

・電池カバーおよびUSB端子のキャップをしっかり閉じた状態で、キッチンで使用することができます。
・石けん、洗剤、調味料、ジュース、お茶、果物の果汁など、水道水以外のものをかけたり、つけたりしないでください。
・耐熱設計ではありませんので、ポットのお湯などの熱湯や冷水をかけたり、つけたりしないでください。
・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。
・耐熱設計ではありませんので、コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる所には置かないでください。

プールサイドで

・電池カバーおよびUSB端子のキャップをしっかり閉じた状態で、プールサイドで使用することができます。
・濡れた手で持って通話することもできますが、プールの水などの薬品が含まれている水につけたり、落下させたりしないでください。

・水につけた状態では使用（キャップ等の開閉やキー操作も含む）しないでください。故障の原因になります。
・プールの水がかかった場合は、洗面器などに水道水を溜めて洗い流してください。洗う際にはブラシなどは使用せず、電池カバーおよびUSB端子のキャップが開かないように手で押さえたまま洗ってください。
・炎天下で高温になる場所で使用したり、放置したりしないでください。

充電する際の注意事項

・本電話機に使用する卓上ホルダ（別売）、ACアダプタ、電池パックなどは防水／防塵性能を有してはおりません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。
  - 水に濡れた後に充電する場合は、乾いた柔らかい清潔な布で水を拭き取ってから充電してください。
  - 充電の際にUSB端子のキャップを開いた場合には、充電後にキャップをしっかり閉じてください。
  - 本電話機が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や本体内部の回路がショートするなどして、火災や故障の原因となります。
  - 卓上ホルダ（別売）・ACアダプタを濡れた手で触れないでください。感電の原因となります。
  - 卓上ホルダ（別売）・ACアダプタは、水のかからない場所で使用してください。濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。
  - 卓上ホルダ（別売）・ACアダプタは、お風呂場、キッチン、サウナ、洗面所などの水周りや湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
・充電時は、卓上ホルダ（別売）をご使用ください。
USB端子のキャップを開けてACアダプタと接続しても充電できますが、卓上ホルダ（別売）を使用することでキャップの閉め忘れや、すき間に異物が挟まることを防ぐことができます。本体とUSB端子のキャップとのすき間に異物が挟まると防水／防塵性が保持できないことがあります。

ゴムパッキンについての注意事項

本電話機の電池カバーおよびUSB端子のキャップの周囲のゴムパッキンは、防水／防塵性能を保持するために非常に重要な役割を果たします。そのため以下の点に注意してください。
・ゴムパッキンをはがしたり、傷付けたりしないでください。
・電池カバーおよびUSB端子のキャップを閉める際はゴムパッキンを挟み込まないよう注意してください。挟み込んだまま無理やり閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が保持できなくなる場合があります。
・常温の真水や水道水以外の液体（海水、温泉、プールの水や、石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤、薬品、汗などの入った水）が付着すると、防水性能を維持できなくなる場合があります。
・電池カバーおよびUSB端子のキャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、カバーやキャップにゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面に微細なゴミ（髪の毛１本、砂粒１個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると、本体内部に浸水する原因となることがあります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。
・電池カバーおよびUSB端子のキャップのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つくおそれがあり、本体内部に浸水する原因となります。
・電池カバーを閉じるときは、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。

ご注意

- 防水／防塵性能を維持するために、異常の有無にかかわらず定期的なメンテナンスをお勧めします。
- メンテナンスは301JRをお預かりして有償にて承ります。詳しくは、ワイモバイルカスタマーセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-36ページ）